

ふれあいと語らいの同窓会



東実同窓会報 NO.13

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL 03-3732-4481 東京実業高校同窓会編集委員

教育改革をテーマに



会長 山本徳太郎

2002年の春を迎えて、皆様いかがおすごでしょうか。昨年、アメリカにおける同時多発テロの影響で、世界的恐怖の中、アメリカの不況そして日本でもNTT・松下グループの大リストラ、雇用不安が不況につながっております。今年はずいとも大きく飛躍したいものと思っておりますが、高齢化社会が進む中、全ての事柄で構造改革が必要であります。将来に期待を持てる国づくりのために教育改革の実施にも取り組まねばなりません。

わが東京実業高校も本年のテーマとして、女子教育の強化と施設の改善があげられますが、これはあくまでも上野塾の教育理念が基本でその徹底が求められます。

さて、同窓会活動は学校諸行事への協力と同窓会への参加です。会員の皆様にはいっそうのご協力とご参加をお願い申し上げます。



平成13年度 東京実業高等学校 同窓会定期総会（16期～37期） 2001.6.9 蒲田ア・ペア

人間の賞味期限



理事長 上野 雅子

先日車の中で何げなくラジオをつけると聞こえてきたのが「人間の賞味期限」という言葉でした。作家の藤本義一氏の本のタイトルとの事でしたが、私もそろそろ60歳を迎える年になった今、この言葉を感慨深く聞きました。

人間には生まれてきたその瞬間から様々な「旬」というものがあります。赤ちゃんから3、4歳頃迄は本当に可愛らしく誰からも愛される存在の旬、小学校から中学校位迄は心身共に伸び盛りの旬、高校から大学位迄は青年から大人への過渡期、そしてその後は結婚年齢の旬、親になる年齢の旬、働き盛りの旬等々、人生の節目節目にそれぞれの「旬」があります。今の世の中は、医療の発達により昔よりもずっと寿命が伸びていますから、この「旬」もとても幅広いものとなってきているはずで、例えば結婚適齢期を考えてみても、昔と今とでは若い人達の考え方もそしてその親の考え方も随分と違っています。物事の価値観も変わってきていますし、平均寿命が伸びている分だけある程度の年齢になっても元気にいろいろな事に挑戦出来る条件も整っています。地球上のあらゆる生物には、自然に添った一定の法則があります。自然淘汰というものは、あまりに多くなり過ぎた生物が自ずとその数を抑える現象です。その法則を人間だけが壊していき、この地球上には年間7000万人もの人間が増

えているそうです。そして又、医療の発達は今迄なら死んでしまうような重病の患者でも治す事が出来るようになりました。増え続ける人口は食糧難、水不足等生きていく上に大切なものを益々不足させる状況にしています。そしてその結果、物を求めて戦いが起こるのは目に見えています。人間は自分達が豊かな時には他人に対して寛大になれます。しかし、いったん困窮すれば、他人の事を思いやる心など無くしてしまうものです。心の中には誰も必ず善ばかりでなく悪というドロドロとした汚ないものが大きさは違ってもあるものだと思います。ほとんどの人は、悪の部分の隠して、より良い人間になろうと努力しながら生き、自分の「生命」を終えます。賞味期限が早く切れてしまうもの、缶詰のように長期間保存が可能なものと、食品によってもその期限が違うように「人間の賞味期限」も又、その人その人によって大きく違います。自分の賞味期限を掌握する事は、なかなか難しいものです。人間とは哀しいもので、自分だけは他の人と違うと勘違いしがちです。政財界の人達をみても、「賞味期限」の分からない人達が何と多い事かと思えます。

しかし、少なくとも私は自分の分をわきまえた「賞味期限」を過ぎないうちに進退決断の出来る人間でありたいと思います。

楽しい室内空間作りのお手伝い

インテリア 遠藤商店

〒146-0085 東京都大田区久が原3-34-12

TEL (03)3752-3027 FAX (03)3752-3359

第22期卒 遠藤 孝一

お菓子のご用命はアルベリに
和洋菓子、クッキー、焼菓子、ギフトetc
まごころこめてお届けします。

株式会社 アルベリ

〒230-0062

横浜市鶴見区豊岡町7番14号

TEL: 045-581-5441

FAX: 045-573-6116

<http://www.alberi.co.jp>

第23期卒 山本 徳太郎

ものづくり国の危機



学校長 上野 毅

21世紀を迎え、本校では普通科文理コースとビジネスコース（商業科を廃止して名称変更）の2コースで男女共学を実施しました。

女子生徒もほぼ定員通りの数が集まったことは既に皆様にもご報告した通りで、大変嬉しく思っております。今後、女子生徒が3学年揃うまで定員通りの入学者があることを期待しています。

ご承知の通り、本校は今まで職業高校として機械科・電気科という、いわば「ものづくり」の科を設置して57年の歴史を刻んで来ました。

さて、先日、毎日新聞に「技能五輪国際大会」に関する記事が載っていました。これはどの様なものかといいますと、腕に覚えのある世界中の職人が一堂に会して日頃自慢の腕を競い合うという、いわば技能分野のオリンピック大会ともいうべきものです。種目は全部で39種目、

建具・左官・大工・板金など生活に密着した技能ばかりです。昨年で36回目を迎えたそうで、9月12日から19日まで韓国のソウルで開催され、35ヶ国、600人余りが参加しました。日本からは31人が参加し、金4・銀2・銅4を獲得、メダル数で世界第4位に輝きました。さすがに「ものづくりの国」日本だけのことはあると喜びたいところですが、過去の記録を見ると金メダル獲得数で6回もトップに立ったそうです。そう考えると現在、日本の技能レベルは確かに落ちているといえるかも知れません。

本校でもここ数年、機械科・電気科では応募者・入学者ともに減少しています。

中小企業の景気が冷え込み、慢性的な不況が続いている世の中ですが、日本の工業の一翼を担う有為な若い人材の育成に今後も努力していかなければならないと痛切に感じる昨今です。



入学式

思い出の写真集●●●

研修合宿旅行



交換留学生ウエルカムパーティ



東実祭

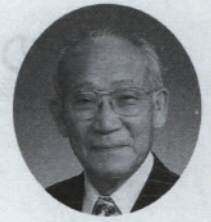


プラスバンド



体育祭

私の少年時代の蒲田



第17期卒 村松 濱代

大田区の中心を流れる呑川は、私の少年時代の昭和初期には今のようにコンクリートで護岸されておらず、橋の付近の高くなったところだけは土手が崩れないように板で護岸がしてあるだけでした。川の中には葦や藻が沢山生えていて、鯉、鮒、ハヤ、クチボソ、鰻等が生息していました。

私は学校から帰ると網を持って川に入り、藻の付近を足で探ると魚が逃げ込んで網に入りました。夏になりますと、この川には蜻蛉が^{とんぼ}無数に飛んで来て、しおから蜻蛉、むぎわら蜻蛉などには子供達は見向きもせずにごん蜻蛉、ちゃん蜻蛉、鬼蜻蛉、やんま蜻蛉を「とりもち」の付いた竹竿で追い掛けて捕まえて遊びました。また、おはぐる蜻蛉、とうせみ蜻蛉なども無数に飛んでいました。

夏の夕日が沈む頃になりますと^{こもり}蝙蝠が上下左右に飛び回り、物を投げると餌と間違えて地上擦れ擦れまで急降下して参ります。あれだけの蝙蝠が日中には何処に住んでいるのか子供心に不思議でなりませんでした。

呑川に架かる「あやめ橋」は当時はもっと小さな木の橋で蒲田駅を背にして渡ると、すぐ左側一帯が広い野原になっていて子供達のよい遊び場でした。その奥の方に菖蒲園があって其処は湿地帯で季節になると菖蒲が見事に咲いていました。又草原には色々な種類のバッタがい

中でも「オート」というバッタは草原を歩いていると、足元から大きな羽根を開いて飛び立ち、一定の距離を飛んでは又草原にもぐり、驚かされることがたまたまありました。その辺りの草原には鈴虫、キリギリス、こおろぎ、その他の昆虫が無数に生息して、夜は虫たちの音楽場でした。

蒲田には当時森が随所にあり、夏になると色々な種類の蝉が沢山いて「とりもち」の付いた竹竿や網を持って蝉捕りをしたり、兜虫は木に止って動きませんので見付け次第手で捕ることができました。

又、六郷橋の河の付近は「もくぞう蟹」が沢山いて、私は妹を連れてよくバケツをぶら下げて蟹を捕りに行きました。葦の生えている干潟に2センチ位の無数の穴があってその中に蟹が住んでいるのです。その穴から少し下の離れた所から、竹の棒を斜めに差し込むと蟹が驚いて穴から出てくるところを捕まえます。

この辺一帯は、蒲田、蓮沼、池上、千鳥町、沼部と地名が代表するように、池や沼の多いところでしたが、今では殆どが埋め立てられ高層の建物が建ち、無味乾燥な地区になってしまいました。しかし、前述のように私の子供の頃は池で釣をする人や、子供達が池の浅い所で魚を捕って遊んでいる光景が随所に見られたものです。

新しい日本語を大切に

株式会社 佐々木印刷所

代表取締役 佐々木 努

〒146-0095 東京都大田区多摩川1-18-15
TEL (03)3758-0710 FAX (03)3758-2821

第15回同窓会卒 佐々木 努

めっき材料総合商社

株式会社 三 松

本社 東京都大田区西蒲田7-57-11
〒144-0051 TEL (03)3733-7131 (代)
営業所 藤沢市辻堂西海岸2-14-45
〒251-0047 TEL (0466)34-1711 (代)

第17期卒 村松 濱代

学校の近況報告

副校長 嘉戸 直民



■第76期生として530名巣立つ

3月3日(土)平成12年度の卒業証書授与が行われた。今年度の卒業生は、機械科177名、電気科85名、商業科189名、普通科79名の合計530名が晴れの卒業証書を手にし、第76期生として巣立って行った。卒業生の進路は就職131名、専門学校201名、大学118名、家業その他80名である。

■635名の新入生を迎える

4月9日(月)平成13年度の入学式が行われた。普通科文理コース82名(女子23名)、普通科ビジネスコース345名(女子75名)、機械科133名、電気科75名の合計635名が入学した。

平成13年度より商業科の募集を廃止し、新たに普通科のビジネスコースとして募集をした結果、定員を大きく上回る生徒が入学した。

■交換留学生来校

6月18日(月)姉妹校から8名の生徒と引率の先生が来校した。

ポルダー地区教育委員会に所属する6校から、男子3名、女子5名が選ばれて来日、日本語での挨拶も立派で、日本に対する興味の深さがうかがえる。大田区内の中学校を訪問し、生徒に深い感動を与えた。親師会主催の歓迎パーティーでは「花笠音頭」の踊りの輪に入り楽しいひとときを過ごした。

滞在中、同窓会会員の家庭にもホームステイをお願いし、お世話をいただいたことに御礼申し上げます。

7月29日、日本の文化や生活の違いを体験し、また多くの友人を得て無事に帰国。

■体育祭と東実祭

10月3日(水)、快晴のもと、平成13年度体育祭が夢の島陸上競技場で行われた。今年度から女子生徒が加わり、1年生全員による「よさこい踊り」に対し、父母席から盛大な拍手が送られた。同窓会からは本田会長代行が出席され、後輩へ熱い声援を送っていただき、色別リレー

の優勝者に同窓会杯を手渡された。

11月2日(金)から4日(日)まで東実祭が行われ、天候にも恵まれ、2600人余の入場者を迎え成功裏に終わった。

今年度は学校創立79周年に当たり、その記念式典では永年勤続の先生方が学校長より表彰された。勤続40年…宮武茂樹先生 勤続30年…疋田伸汎先生、須貝茂先生、金子健一先生、小椋幸江先生、飯塚方子さん 勤続10年…高橋修先生、藤田稔先生、村山隆先生。

今年は11月2日、3日を創立80周年の節目の年の東実祭とします。

■クラブ活動

インターハイ出場

陸上部 普通科2年中嶋哲也君(5000m競歩)
宮城国体出場

陸上部 普通科2年佐野正人君(走り高跳び)

■職員の移動

新任教職員

国語科…宮地裕先生
電気科…小峰清司先生
研修所…飯塚龍寿さん

英語科…山田しのぶ先生
養護…星野澄子先生
用務員…久保田堅次さん、
花田恒彦さん

退職教職員

英語科…小牟田清一先生
養護…岡野美和子先生
用務員…上野隆三さん

電気科…椎橋正守先生
研修所…是枝昌旭さん

総合印刷

シンセイ印刷株式会社

〒142-0052 東京都品川区東中延2-4-2

電話03(3784)3565(代) F A X 03(3784)3567

機械科報告

同窓会の皆様、こんにちは



機械科科长 増田 修一

平成13年度は133名（3クラス）の新1年生を迎え、3学年合計で411名（10クラス）でスタートしました。機械科はいろいろな物を作ることによって、それに興味を持たせ、必要な知識を習得させることを目指しております。1学年では工学系の基礎知識の充実、2学年では各種資格の取得、3学年では各個人の進路にあった細かな指導に重点をおき、充実した高校生活を送れるよう職員一同努力しています。今年は新たにフォークリフト運転特別教育を行い多数の生徒が受講しました。9月に行われた

体験入学ではマシニングセンターで参加生徒のネームプレートを製作しました。11月の東実祭では、機械科展を開き1年生から3年生までの作品の展示、CADの実演、マシニングセンターの実演等を行いました。機械科を卒業した生徒たちが将来立派な社会人として活躍してもらうことを期待しています。今回は、実習風景や生徒の作品を写真で紹介させていただきます。

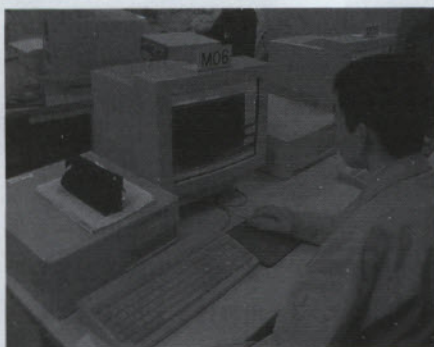
同窓会の皆様には今後もお世話になることも多いと思いますが、よろしくお願い申し上げます。



↑溶接実習



一 機械実習



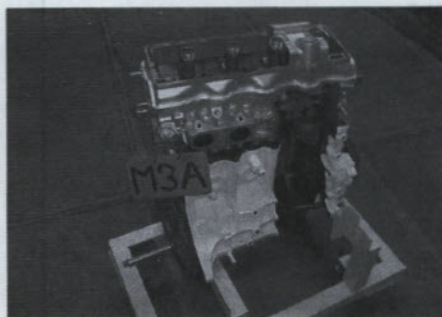
一 CAD実習



一 ロボット実習



一 電子工作実習



一 カットエンジン

電気科報告

電気科について

電気科科长 長谷川 浩



同窓生の皆さん、こんにちは。平成13年度より佐藤節夫先生から科長職を引き継ぎました電気科教諭の長谷川です。東京実業高等学校に奉職いたしましたのは、昭和54年4月ですから、それ以前にご卒業された方は存じないと思いますが、宜しくお願い致します。

さて、電気科では長年電気実習を指導して頂いた村田博行先生と椎橋正守先生、非常勤で勤められていた坂田慶隆先生のお三方が定年退職を迎えられ、新たに深川剛先生（本校電気科・平成3年3月卒業）と小峰清司先生（関電工より）のお二人が電気科の実習指導員として奉職いたしました。若い先生のパワーで電気工作、及び電気工事の実習内容も変わり、特に電気工作ではロボットの製作と制御を重視した実習内容となりました。生徒にも人気のある電気工作実習では、1年次にデジタルテスト（サンワのキット）を製作、2年次では自律型移動ロ

ット「梵天丸」（NEC宮城ビジネスで開発されたワンチップマイコンPIC16F84 [Microchip社] を搭載したプログラマブル自律型二輪駆動ロボット）の製作とプログラミング。3年次は課題研究の授業（工作実習）において、ロボットアーム（エレキット製）の組立てとプログラムによる制御実習を行い、最先端の技術取得に大いに貢献しております。また、電気工作のプログラム制御を行う為の専用パソコン（iiyama製Celeron500MHz）も6台導入し、少人数（2～3人）でプログラミング実習を行える環境も揃いました。

IT時代に乗り遅れることのないように、これからの電気技術者を育てる努力を、新しい先生方と日夜（夜は場所を変えて……？）に渡り取り組んで行きたいと思えます。皆さん、是非とも応援を宜しくお願い致します。



【写真説明】

課題研究（電気工作）でパソコンを利用し、ロボットアームの制御実習をしている電気科3年生の様子。

普通科報告

文理コース

科長 三山 弘



本年度より普通科は、文理コースとビジネスコース(旧商業科)の2コース編成及び男女共学になりました。又、2年次には、転科(文理⇄ビジネス)及びクラス替えを行うという新しい体制になりました。カリキュラムも選択科目を多くし生徒が自由に選べる様になり、自主性を重んじるよう配慮しました。

転科は、10月に説明会及び個人面談を行い、11月に転科希望を提出し、12月中旬に転科試験(1学期の成績・転科試験及び生徒の転科に対する意欲等)を行い、1月に結果を発表します。

学校生活では、各クラス毎に10数名の女子が在籍している結果、明るく、活発かつ積極的な状態ですが、反面男子が小さくなっているようにも見受けられます。例年、実施している学習合宿を見ても女子の参加によって今までと異なった雰囲気をかもしだしているようです。初めてのせいか、女子の指導には多少戸惑いがあることも確かです。クラス内では、女子がいることで掃除などの指導が楽になりました。女子が男子にお弁当をプレゼントするという微笑ましい光景もありました。

女子教育を定着させるには、これからの数年間で、学校の設備、指導などでなお一層努力しなければと思いません。

ビジネスコース

科長 小畑 雅一



本年度商業科は大きな変化を迎えました。一つは商業科という名称を廃止し、「普通科ビジネスコース」として生まれ変わったこと、もう一つはそのビジネスコースに女子生徒を受け入れたことです。ビジネスコースは従来商業教育の枠を越えて、国際化、情報化に対応出来る人材を輩出することを目的に、商業科を母体として生まれました。内容的には珠算など従来からある科目を無くし、コンピュータを使った学習を多く取り入れました。更に、選択科目を増やし、個々の生徒たちの適性と興味に合わせて学ぶ内容に幅を持たせる工夫を行いました。まだまだ試行錯誤の部分もありますが、これからも日々進歩する社会に適応した教育をしていく所存です。また女子も十数年ぶりに募集を再開したところ、75名の女子生徒が入学しました。まだまだ人数は少ないですが、元氣な女子生徒たちはすでに学校の中心として活躍する勢いを見せています。今後女子生徒が増えれば、ビジネスコースのみならず学校全体の雰囲気も大きく変わっていくことと思われます。


最後になりましたが、定年に伴い神谷尚利先生、小島浩先生、平田文雄先生のお三方が退職されました。先生方は長年に渡り商業科の担任として、また教科担当として生徒に接し、熱心に指導してくださいました。大変ご苦労様でした。

先生方の今後のご健康とご活躍をお祈り致します。

心に残るひととき

東京蒲田「プラザ・アペア」の
「婚礼」「宴会」「宿泊」を御利用下さい。

○クラス会・同窓会6名~150名まで
お受けさせていただいております。

 東京蒲田「プラザ・アペア」

〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-3-5
☎ 03-3732-4122 担当 田中・伊島

○A機器、事務用品
事務器、オフィス家具

菊屋浦上商事株式会社

本社 東京都大田区西蒲田7-32-9
〒144-0051 TEL. 03-3737-1551 FAX. 03-3737-1558

本店 東京都大田区西蒲田7-45-8
〒144-0051 TEL. 03-3737-1550 FAX. 03-3737-1569

神奈川店 神奈川県相模原市相模原6-26-7
〒229-0031 TEL. 0427-54-9211 FAX. 0427-54-9051

生徒会長になって



生徒会長 増井 匡樹

この度、生徒会長になりました普通科2年B組の増井匡樹です。私が生徒会長に立候補したのは、生徒のために全力で、自分が何処までがんばれるか試してみたかったからです。一昨年は書記に立候補し、落選しました。しかし、私は一年間、一般役員として活動してきました。そこで得た知識を存分に生かしていきたいと思っています。私は他にバレーボール部や文化祭実行委員会にも所属しています。でも片手間にやるつもりはありません。全てにおいて全力で向かっていきます。

昨年東京実業は男女共学になりました。学校行事については例年通りには行かないと思っています。新生徒会長になって最初の行事は生徒総会でした。先生方のお力もお借りして、完璧にはいかなかったものの成功しました。次に大きな行事は体育祭でした。これまでの科

対抗制度を取り止めて、完全色別対抗制にしました。このことにより、普通科にしかない女子の生徒達も点数がとれること、他の科の先輩、後輩にも「色」の中で団結してもらう事ができました。体育祭は大成功でした。この次に実施されるのは、東実で最も大きな行事の東実祭ですが、まだ、私達生徒会では、成功するのかどうかわかりません。でも、生徒会として、文化祭実行委員を手伝って東実祭を成功させるのが今年の目標です。この先、東実がどのように変わっていくかは、私にも予測できません。しかし、生徒全員が東実生で良かったと思ってくれる学校に変えていきたいと思っています。

最後に未熟な私ですが、生徒会ともども、よろしくお願いたします。

平成13年度(第77期)卒業同窓会幹事名簿

平成14年3月卒業のクラス別同窓会幹事を紹介いたします。

クラス	担任	各クラス2名
M・A	栗原先生	伊藤優・瀬上洋輔
B	藤田先生	大久保謙司・幸田吉之
C	村山先生	加藤佑治・細田祥貫
D	千田先生	角田彰吾・○小峯拓也
E・A	長谷川先生	出川春樹・○長山健
B	関根(勝)先生	数勇太・山中理行
C・A	小畑先生	岩本修一・前田裕亮
B	岡田先生	◎日下部達・徳田裕敬
C	小林先生	伊藤幸樹・平川利行
D	毛塚先生	平田大知・宮下誠
O・A	鈴木(光)先生	秋田直伸・菊岡泰士
B	関根(章)先生	佐藤清之進・○中島崇人

注：◎代表幹事 ○副代表幹事

学年主任 = 小林正文先生

「久々にクラスメートに逢いたいナ」と思ったら、担任又は上記クラス幹事に、ご連絡下さい。連絡先は、卒業時にお配りした同窓会幹事名簿をご覧ください。

みんなのオアシス 東京実業高等学校食堂



シダックスフードサービスは、
全国約2000カ所の
オフィス、工場、学校、病院などに
1日40万食を提供している会社です。

シダックスフードサービス株式会社

〒163-1036 東京都新宿区西新宿3丁目7番1号
TEL: 03-5908-1387 新宿パークタワー

写真撮影・印刷

入学案内・ポスター・卒業アルバム

東京写真工芸株式会社

TEL.03-3303-3333

東京都世田谷区船橋6-1-2

同窓会近況報告

平成12年度 収支決算報告書

自 平成12年4月1日
至 平成13年3月31日

収入の部			支出の部		
科 目	12年度予算	12年度決算	科 目	12年度予算	12年度決算
前年度繰越金	4,964,143	4,964,143	事務消耗品費	800,000	416,789
終身会費	5,300,000	5,300,000	通信連絡費	450,000	207,690
寄付金	100,000	127,834	印刷費	300,000	34,000
広告費	80,000	54,000	会議費	700,000	443,364
総会会費	500,000	365,000	総会費	800,000	529,905
旅行会費	1,000,000	1,151,000	旅行費	1,200,000	1,363,544
新年会会費	1,000,000	466,000	新年会費	1,200,000	685,596
受取利息	857	1,179	慶弔費	200,000	212,871
雑収入	0	191,750	卒業記念品代	300,000	323,190
			助成費	500,000	80,000
			会報発行費	700,000	709,930
			積立金	4,000,000	2,000,000
			予備費	300,000	182,326
			次年度繰越金	1,495,000	5,431,701
合 計	12,945,000	12,620,906	合 計	12,945,000	12,620,906

平成12年度の収支報告書を監査致しました。
その結果適正、妥当であることを認めます。

平成13年5月22日

会計監査 小 宮 龍 雄 印
小 島 浩 印

平成12年度 同窓会事業報告

総務委員会「総会・会報・総務全般」

○定期総会

平成12年度定期総会

日 時：平成12年6月3日(土) 15時～18時

会 場：蒲田プライダル・パレス「ア・ベア」

出席者：ご来賓・学校関係者・同窓会会員

懇親会

同会場にて総会后、懇親会が行われました。(参加費5,000円)

但し平成の年度に卒業した会員についてはご招待とさせて頂きました。

○正副会長会

同窓会運営についての討議を行いました。

○常任幹事会

行事運営についての討議を行いました。

○会報誌の発行

同窓会会報誌第12号の発行にあたり、広告・原稿の依頼・収集・発送業務全般等を実施致しました。

○その他

母校の行事に参加(教職員との新年顔合わせ：卒業式：入学式：体育祭：東実祭)

平成12年10月：体育祭において同窓会長杯を贈呈致しました。

平成12年11月：東実祭に参加；同窓会としては「どら焼き」の販売を実施致しました。

平成13年1月：本年度卒業生(新幹事)に同窓会の説明を行いました。

事業委員会「新年会・旅行会等に関する事。含む周年行事等」

○旅行会実施(会員有志による懇親旅行会 18回目)

日 時：平成12年9月9日(土)～10日(日)

場 所：西伊豆 宿泊先：桂川シーサイドホテル

○新年会実施(会員有志による新年会)

日 時：平成13年1月27日(土)

場 所：新横浜 フジビューホテル

参加者 当日大雪にみまわれたにもかかわらず多数のご参加をいただき大変楽しい懇親を深めることが出来ました。

運営委員会「会計・予算の総括・含む会則等」

各事業にかかわる会計業務全般の報告を常任幹事会席上にて提出致しました。

組織委員会「名簿の整理」

同窓会卒業生の名簿の整理作成業務を実施致しました。

総会・新年会・旅行会・クラス会等の名簿作成業務を実施致しました。

***** 有志新年会写真集 *****



平成12年度 東京実業高等学校同窓会
 新年会 平成13年1月27日
 於 新横浜フジビューホテル



当日は数年ぶりの大雪に見舞われ、交通の便も厳しい状態でした。しかし、各自万難を排して当ホテルに集い、楽しい一時を過ごすことができました。



平成13年度 東京実業高等学校同窓会
 新年会 平成14年1月26日
 於 ホテルパシフィック東京 スカイラウンジ
 ブルーパシフィック



当ホテルの三十階のスカイラウンジから見渡す夜景はとても印象深いものがありました。

同窓会に出席して

卒業して35年、初めて同窓会の定期総会に出席致しました。夫の転勤の度に住所変更等で、いつしか、高校時代の友人達とも音信がなくなり、母校も遠いものになっておりました。このたび、幹事さんの御努力で、連絡をいただき、懐かしく、飛び立つ思いで、出席致しました。間もなく80周年という伝統にささえられ、同窓会長以下、役員の方々の御努力で、母校が、益々発展している様子がうれしく、又有難く、思いました。

懇親会には、私達の担任であった岡野先生の御退職との事もあり、我がクラスから19名もの出席がありました。音信不通だった親友に再会出来、思わず涙ぐんだり、卒業以来だったので、クラスメイトの顔もわからないのでは？と不安もあったのですが、じーと見つめています、「ああ、あの人が、仲の良かったあの人が」と次々と思ひ出され、一気に高校時代にと戻っておりました。同期

第41期卒 根本 和子



の方達とも話がもりあがり、皆で歌った校歌もすんなり思い出し、帰り道では知らずに口ずさんでおりました。懐かしく、うれしい一日でございました。

子育ても一段落し、子離れをしなくてはと思っております私には、自分を振り返る余裕が少し出来、青春時代を懐かしく思っておりました。昔を懐かしがるのは老いた証拠といわれそうですが、いやいやとんでもありません。今回同窓会に出席し、人生の輝いていたあの頃を思い出し、あの頃の仲間に加え、旧交を温め、あの頃の心の弾みを確認し、これからの第二の青春の旅立ちにしたいと思っております。私はもちろんですが、中々機会がなかった皆様も、是非、同窓会の主催する行事に参加してみませんか？ きっとすてきな心の弾みが戻ってくると思います。

感謝をこめて

長くお世話になった東京実業高校を退職して4ヵ月がたちました。平成13年6月9日の同窓会にお招き頂きまして、41期の皆さまから、おことばとお花と特製の感謝状とすてきな日傘を頂きました。昭和38年4月、女子商業科1年B組の担任として15才の皆さまと出合いました。未熟者で迷惑をおかけしたことが多い私なのに、こんなに良くしていただいているのでしょうかと涙が出そうになりましたが、家へ帰ってからゆっくりと泣きました。

元教諭 岡野美和子



その時代は、同年令の人口が多いために物がたりず不便なことが多かったのに、不平を言わずに生き生きと学校生活を送っていらっしやっただけを思い出しますと、りっぱな社会人となられたお一人お一人とつながってきます。私は東京実業で働けたことを感謝しています。41期女子商業科A組・B組の輪の中の一人のような気がしています。これから友達付合いをよろしく願いいたします。



平成13年度 東京実業高等学校 同窓会定期総会 (16期～37期) 2001.6.9 蒲田ア・ペア

夜の士官



第17期卒 羽下 良夫

昭和17年12月25日に母校東実を卒業して間もない正月も松の内を過ぎた頃、召集令状がきて2月1日に故郷新潟県村松町の東部68部隊（旧歩兵第158聯隊）に入隊し、即日第六中隊に編入された。一つ星の新兵であるから昼は雪の練兵場で夜は内務班で古参兵のピンタとしごきの毎日であった。どうやらしごきにもなれてきたある日のこと、週番上等兵が内務班にきて「第六中隊の羽下二等兵に第五中隊の〇〇見習士官殿が用があるそうだ」と呼びに来た。他中隊からとは何事かと一寸心配だったが、急いで隣棟の五中隊の見習士官室を尋ね、入室すると襟に金色の星の座金をつけた若い見習士官が2人一斉にこちらを向いて立ち上がった。「羽下二等兵只今参りました。」二人共私より一つ二つ年長だと思った、美男の方の見習士官がニコニコし乍ら開口一番「自分も同じ東実の卒業生である。お前も見習士官を受ける資格があるのに何故希望しないのか。今からでも遅くないから受けなさい」と言う。「自分も士官殿と同じ東実の卒業生ではありますが、実は夜間の第二商業部の卒業生であります。夜間卒は士官になる資格がないそうであります。」と答えると「そうだったのか夜間卒は資格がないのか…尤も夜だけの士官という訳にはいかないからな、仕方ないな…」ほんの十分位の短い会話であったが、共に同窓という共通の認識から懐かしく、もう少し会話の時間が欲しかったが訓練中のしかもこちらは初年兵の悲しさで時間の余裕がなく、この時が最初にして最後の出会いとなってしまった。その後、一期の検閲も終りどうやら兵隊らしくなって

きた頃現役兵は満州に、召集兵は中国へと新しい軍装で次々と兵営を発って征った。私はその後衛生兵となり新発田の聯隊から仙台第一陸軍病院に転属となったが、同年兵の中で最後まで残っていた私にも転属命令が下り、同年12月14日未明に仙台を後に南国ビルマに補充要員として出発した。あの時にお会いした同窓の見習士官殿はその後どうされたか、近く少尉に任官されていずれば外地に派遣されたことと思うが…若し無事に復員されていたら東実同窓会行事に顔を出されているかも知れない。あの時のりりしくも紅顔の美青年も60年後の今ではよいじいさんになっておられるであろう。無事でいてほしい……せめてお名前だけでも覚えておけばよかったと今更乍ら悔やまれる。今でも町はずれにある旧兵営の前を通る時には当時が思い出される。昔の兵舎はすっかり取り払われ中学校や住宅の並ぶ町になって、昔の面影はないが、まだ営門の二つのレンガの柱と小さな歩哨の立哨あとの小さな三角屋根の建物だけは残っており、それが僅かに昔の面影をとどめている。隣接する広い練兵場跡は新潟大学農学部の実習農場になっている。農場そばは公園で桜の名所になっていて春になると花見の場所になる。長い間の雪の生活に耐え乍らの生活から解放されて、さわやかな青空の訪れの喜びに近隣の老若男女が集まって宴が催される。戦争を知らぬ若者達が楽しそうに平和な青春を謳歌している姿を見ることができる。そこはかつての「兵達の夢の跡」である。戦争のない平和国家が永久に続くことを願ってやまない。

酒類のことなら何でも相談承ります

酒の 旭 屋

東京都大田区西蒲田7-49-10

☎ (03)731-7111 (代)

第34期卒 瀬戸 秀彦

木造住宅耐震補強工事
建築・土木防水工事
リフォーム工事

渡辺商会 知事許可
(般-9)第5472号
渡邊正信

2級建築施工管理技士

〒235-0023 横浜市磯子区森6丁目11番20号
TEL.(045)761-3010(代) FAX(045)761-9570

第37回五葉会卒 渡邊 正信

回 想

夫良 不既 卒既 第18期卒 笠原 忠男



現在私の手許に昔の「東実学報」創立20周年記念号が保管してあります。発行日が昭和18年10月1日となっています。半世紀も経過しているので学報は茶褐色に変色し破損も甚だしいものです。印刷部分は読める状態なので記念号を参考にしながら当時を回想して行きたいと思えます。

この記念号の発行に当たっては資材節約の時局下で、しかも物資配給の時であり種々苦勞され2年分の内容を含め第4号を創立20周年記念号として発行することにしたとのことです。

さて、表紙には「東実学報」創立二十周年記念號と印刷され、それを開くと昭和17年11月1日本校々庭に於て挙行された記念式典の全景と来賓の方が祝辞を述べている写真が2頁に亘り掲載されています。

更に頁を進めて行くと、先ず、校長 上野熊蔵先生の式詞が載っています。

(式詞要旨) 来賓に対するお礼に始まり、本校が神田より此の地に移った経緯、今日の式典に第一商業部900名、第二商業部700名、1600名の生徒が集まっていること、本校志願者が募集人員の4倍に達する程多くなってきていること、勤続15年以上の教職員十数名に対する感謝の表意、大東亜戦争完遂の暁には指導者として一翼を担う役立つ人間を送りだすこと、真の商業を志すものの天地が開けて来たと、信念をもって指導し八紘一宇の大理想に邁進したいと述べられています。

来賓の方々からは、祝辞として、東京府知事、東京市蒲田区長、全国商業学校協会々長、御園二丁目町会長、東京実業学校同窓会代表、東京実業学校蜜虫会代表の方々が述べられ、終りに式詞を、財団法人上野塾 上野繁理事長先生が述べられています。以上が式典関係事項の概略です。

頁を進めると次は学校の行事日誌(自昭和16年1月至昭和17年12月)が第一商業部、第二商業部に分けて掲載されていました。日誌の内容が大変多いので第一商業部に関係のある主な事項を抜粋し記して行くことにします。

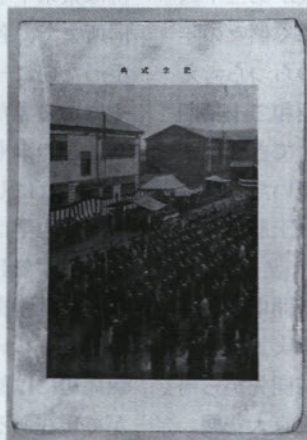
昭和16年
● 3月16日 第16回卒業證書授与式举行 ● 5月16日 5年生徒富士瀧ヶ原廠舎廠営(5月19日帰校) ● 7月2日 2・3年生勤勞奉仕(宮城外苑) ● 7月3日 4・5年生勤勞奉仕 ● 7月7日 支那事变記念日挙式、4・5年行軍、1・2・3年新田神社参拝 ● 8月13日 防空訓練非常召集演習実施 ● 8月23日 防空演習 ● 10月9日 全生徒剛健旅行吾野方面 ● 10月25日 教練査閲(瓦斯橋近傍) ● 11月18日・19日 3・4年生勤勞奉仕(兵器廠) ● 12月8日 米英に対し宣戰大詔渙発せらる(その後毎月8日大詔奉載日式举行) ● 12月15日 実包射撃査閲 ● 12月24日 第17回卒業證書授与式举行
昭和17年

● 4月10日 5年生徒富士瀧ヶ原廠舎にて廠営(1月3日帰校) ● 4月18日 米機空襲あり ● 4月27日 觀兵式予行見学(4・5年生徒) ● 5月6日 空襲警報発令30分後解除 ● 5月11日 5年生徒各工場に於て勤勞作業(20日迄) ● 6月19日 3年生徒宮城外苑に於て勤勞作業 ● 8月6日 5年勤勞奉仕(於京浜運河10日迄) ● 8月12日・9月30日 警戒警報発令 ● 10月5日 防空演習 ● 10月13日 教練査閲 ● 10月15日 4年生徒勤勞奉仕(府下神代村に於て) ● 11月1日 創立20周年記念式並祝賀会举行 ● 11月2・3日 創立20周年記念学芸大会・体鍊大会実施 ● 11月7日 全校生徒富士板妻廠舎にて廠営(10日迄) ● 11月22日 警戒警報発令(24日解除) ● 12月6日 5年生徒卒業旅行(関西方面11日迄) ● 12月24日 第18回卒業證書授与式举行

以上抜粋した内容を見ますと、当時は戦時中のことでもあり教練、実包射撃訓練、富士山麓の廠営、心身の鍛練、兵器廠、軍需工場等種々の勤勞奉仕、防空演習などの行事項目が多く見られます。又、敵機来襲により警戒警報、空襲警報の発令などあり緊迫感を感じさせる時代でした。卒業後には戦況も刻々と悪化、昭和20年に入り空襲は激化し住民や建物など甚大な被害を受けました。本校も例外ではありませんでした。被災者は縁故先や故郷など安全な場所を求め避難したため所在不明の人が大

勢います。このような状況では我々同期の者も交流出来る状態ではありませんでした。昭和30年代頃には世情も大分落着きをとりもどして来ました。その頃吉岡淳一君(故人)が同期の仲間を探し求め少人数ながら何回か集まりを重ね同期会の基礎づくりを始めたと聞いています。これに対し現在の同期会幹事伊藤勝啓、清水一雄、森哲太郎(故人)の諸兄が加わり18期生の会「一八会」を誕生させ本格的に活動を始めたとのことです。きっかけをつかった吉岡君の功労は大なるものがあったと思います。

初めての同期会「一八会」は昭和41年9月17日開催し30名の参加者があったと記録されています。以来殆ど毎年開催しており折りにふれ理事長先生、校長先生、恩師の御出席をいただき開催してきました。年に一回の同期会ではありますが仲間と会えることは大変楽しいものです。我々18期生は昭和17年12月切り上げ卒業してから来年は60年になります。人間に例えれば還暦に当たります。来年はどのような同期会になるか幹事さんの企画に期待しています。



オーダーメイド専門
 企画から製品まで(多少なりとも製作します)
 ファイル・バインダー・表示板・掲示板・黒板・ディスプレイ
 紙・ビニール・プラスチック・金属・ゴム・繊維・木製品 その他
 米軍、銀行、航空、船舶、外国商社等納入
 企画・製作 ☎(03)3241-1496・1497
株式会社 伊藤商店 FAX(03)3241-1439
 東京都中央区日本橋本石町4-2-2 〒103-0021
 第18期卒 伊藤 勝啓

スポーツのことなら!
しろかね
白銀スポーツ
 ユニフォーム・スポーツ用具
 用品・施設・工事一般
 カップ・賞品・トロフィー
 〒143-0024 東京都大田区中央8-29-7
 TEL(03)3754-8679 FAX(03)3754-4845
 第37期卒 白銀 正明

民間車検場
 東京陸運局長指定第2-637号
 各メーカー・新車・中古車・販売・車検・钣金・塗装
 ☆事故についてのご相談承ります☆
モリタ自動車
 〒230-0023 横浜市鶴見区市場西中町4-17
 ☎ 521-4521 (代)
 FAX. 504-5676
 E-mail:h11140@aoa.ne.jp
 第41期卒 森田 洋司

— 冷暖房設備・電気設備 —
有限会社 シタマ設備
 横浜市港南区丸山台3丁目30番6号
 TEL (045)845-7355 FAX (045)845-2060
 第41期卒 舌間 寛佳

東実のエポックメイキング



第26期卒 伊藤 澄雄

「東実同窓会報」No.12の配布有難う御座いました。久しぶりに母校誌を拝見し、懐かしさと同時に時代の趨勢を実感致しました。母校の近況あり、諸先輩方の思い出あり、有意義に拝読しました。残念ながら我が第二十六期生も何度か会合を催しましたが集まりが悪く個々の年賀状交換程度に留まっています。しかし、つらつら考えるに私達こそ母校を含めエポック的時代（昭和二十年四月入学～昭和二十六年三月卒業）を駆け抜けてきた様に思えてなりません。その辺の古き出来事を思いだしながら少々記述して見たいと思います。五十年以上前の事と多少の時系列錯誤はご容赦を。

まずは昭和二十年当時、我々は学童集団疎開中で各地方に居たので旧五年制の競争率四、五倍の東実工業中学校に確か書類選考で入学したと思います。疎開先から帰省したのが三月六日そして三月十日がかの東京大空襲。従って趣のある旧校舎を見たのは入学発表の日他幾許もなく、その後始業式はやったかどうか覚えていません。戦火で池上線が止まってしまっているのが徒歩で校舎まで辿り着いてみると一面の焼け野原（校舎焼失は三月十日前後かも）やむをえず集まって来たまだ名前も知らない同僚と帰途についたのを覚えています。隣の生徒はおらず軍隊に接収されていた御園小学校があったらとおぼしき脇を通りがかった時、焼け残った木材を櫓に組みそれが中空に紅蓮の炎が立ち昇っていました。「オイ、兵隊が兵隊を燃やしているぞ！」と誰かが言いました。生き残った兵隊が空襲で焼死した兵隊を茶毘に付していたのです。死んだ人はどんな人だったのだろうとフツと思ったりしましたが、校庭の端に焼け残った樹木の緑が妙に脳裏に残っています。それからはメチャクチャでした。「鶉の木」の東京中学で合併授業を行うと言う通達があり、毎日徒歩で通学しましたが、校門で「ゲートルの巻き方がなっとらん」と小突かれ、中に入っても校庭や多摩川原で配属将校に鉄で突き飛ばされながらさつま芋の栽培ばかりをしていて中学の勉学をしたという記憶は一切ありませんでした。そうこうしている内に体調を崩し（ひどい下痢）数ヶ月後登校しましたが、やがてその夏終戦を迎え、間もなく蒲田に帰れる様になりました。行く先は現在の蒲田郵便局の隣にあった新潟鉄工所でした。

その内部は全く焼け落ち、窓にガラスも無く、外側のみの建物で、机、椅子も無い冷たいコンクリート床に車座になり授業らしきものを受けたものです。その後その椅子、机は東京中学より譲渡を受けました。鶉ノ木から蒲田の同所まで、各自椅子か机を一つずつ手に持ち、多摩川土手づたいに列になって運んだのですが、その運搬たるや側から見たら異様かつ壯観だったのではないのでしょうか。この事も私にとって忘れられない一事です。

いずれにしろ終戦後、矢継ぎ早に学制改革等で、旧制五年の中学は廃止され、六、三、三制が施行されたり訳も解らず無我夢中で、すきつ腹を抱えながら印刷しっぱなしの教科書を自分で綴じ、言われるままに読むところが無いくらい黒塗りしたものです。巷には特に国鉄蒲田駅周辺には餓死寸前の戦争浮浪児が屯していました。やがて現在あるべき所にささやかながら木造平屋の校舎も出来、個人的事ながら途中またまた体調を崩したりしましたが、諸先生のお蔭で東実中学三年、昭和二十六年春には東都高校機械科三年を無事卒業しました。その後このような状態ですので学力など付くはずも無く、彼我の状態も解らず国立の超一流大学なぞ再三受験し、苦勞しました。やがて学業を終え、お決まりの社会人となるわけですが当時まだ高度成長時代の一歩手前で就職は厳しいものでした。幸い高度成長時の寵児プラスチック金型の設計技術に従事することが出来、お決まりの産業戦士気取りで国内外にエコノミックアニマル振りを振り回したものです。金型業界も苦難の路に踏み込んで最後は細々ながら今年の春でこの道四十五年、さすがに力尽きた感じがします。この間四人の子女をもうけ世に送り出す事は出来ましたが、子供の教育は全く女房任せでした。先日散歩の途中、娘の母校の前を通り掛かりこの学校に一度も足を踏み入れなかった事に思い当たり、忸怩たる思いでした。現在は五人の孫に囲まれマゴマゴしていられるのは幸と言わざるをえません。

以上詰まらぬ事を書き連ねましたが皆さんに伝えたいのは、要するに我々より二、三期早い方又逆に三、四期遅い方たちは時代こそ違え、その時代を背景に軍国主義であれ、民主主義であれとにかく一貫した目的で教育を受けられたと思います。しかし、我々より前後二、三期

の人々は昨日まで配属将校に殴られていて一夜明ければ自由だ、民主主義だ、憲法だ、と天地がひっくり返ったような変り様でした。世の評論家はここで世の中なり大人達に大なる不信を言い募ったわけです。だが私達は唯々諾々と受け入れ通り過ぎた様に思えます。同期の者も私以上に色々あったろうと思ひ、聞いてみると「そんな事あったかなあ、よく覚えていないよ」といいます。振り返って見ると百年に一度有るか無しかの激動期でありながら我々は極く普通だったのだ、普通で有りたかったのだ、と言う気持ちが根底にあった様に思えてなりません。そしてこの事が後半の人生の強みでもあり弱みでもあった様に思ひます。

元気な方円会員 常連遂に欠ける

本日、天気曇り、時に陽出る27度、つゆ入り3日にしてはよろしい。常連が集まった、やっぱり10名だ。理事長さんが急の欠となり寂しい。

一年ぶりの再会だがちっとも変わってない、毎日会っているような感じ、挨拶も簡単なものだ。60余年の年月は感じない。酔わないうちに記念写真を撮った。着席と同時に飲み出す。大畑稔君が居ない。黙とうをする。僕は彼と剣道部で修練したことを披露する。残念だな一。

幹事は一年間の報告をして、小宮は欠席者の様子等を

小事、些事を並べたてました。当時焼け野原の全くゼロからの学校復興です。学校当事者、諸先生の必死のご努力も目のあたりに見ておりますが、私共も底辺で無我夢中、必死で支えたと言う事で拙文を「東実のエポックメイキング」と名付けました。皆様のご感想をお聞かせ下さい。

因みに我が同期会の又の名を「緑窓会」といい、ニックネームを六年間担任だった中村勝行先生のあだ名を採り「モンキークラブ」といいます。最後の卒業写真に写っている級友の中には残念ながらも既に何人か物故している者もいますが、総勢三十八名皆真剣に正面を見つめて居るのが今見ても印象的です。



第16期卒 青木 茂夫

しゃべっている。倉石カメラ氏は色いろのアングルで活躍している。和田は料理に細かく気を配っている。

今回は同窓会の総会があるのでゆっくりできない。いつもならゆっくりできるが、終りが気になることは否めない。時間ばかりが気になる。同行を誘った。大西が参加することになった。小宮の決算の報告が始まった。全員拍手、和田の閉会の辞が始まる。来年の6月8日1時を確認し合った。健康に注意してまた一年頑張ろう。



第一期女子商業科の 創設について



元教諭 荒川 和男

女子商業科は昭和29年4月に開設しました。その開設についてのいきさつを述べてみます。そもそもの動機は生徒が少ないので女子を募集したらどうかと、その当時上野熊蔵先生の相談役であった小野教孝先生（東洋大学理事、元本校教員）が提案され、女子教育専門の蒲田女子高にも相談されたと思います。何しろ私学はどこも生徒不足で困っていた所、他の学校にない特色のある「学校づくり」を考えたと思います。生徒の募集に際しては、大田区、品川区、川崎市で本校の卒業生が中学教員をしている方々や本校の教職員の娘さんなどをお願いして、やっと19名が集まり、初年度が始まりました。また入学金も徴収せず経済的にも苦しい出発でした。

女子部の担任には市川いく先生（上野熊蔵先生の義妹）

定時制隆盛の時代

本校の定時制教育は古く、戦前、戦後と教育界に貢献しました。私は昭和32年から定時制で約20年間勤務しました。教頭としては高橋道広先生と昭和40年度から朝倉先生が定時制教育の発展に力をつくされました。

特に昭和30年代には地方からの集団就職により本校定時制を希望する生徒が多く、選考試験で半分近く落としました。したがって、生徒の資質もよく学習意欲にもえていました。しかし、生徒の中には都会の誘惑に負ける者もあり、卒業まで入学時の半分に減ることがありました。生徒の出身地は東北地方（青森、岩手、福島、山形県）が多く、静岡県、四国、特に九州（鹿児島、長崎、大分）の生徒には印象の深い者がいました。特に昭和35年度から38年度には機械科3クラス、商業科2クラス、250名入学したのが最高でした。卒業生の多くは、学校を

があたり、数学は上野繁先生、国語は浅利先生、体育は間手野先生など女子の先生をおき、とても家族的な雰囲気でした。二年目から生徒も増え活気にあふれました。また学校のPRのため川崎市内の中学校と駅伝大会を行いました。そのとき女子の三嶋さんが走り、印象深いものがありました。

その後、大平先生などが担任をなされ、女子商業科が継続されました。なお、本校に女子が入学したのは、昭和27年度商業科に大田さん、28年度に八木さんが初めてです。29年度は19名が入学し、要田さんが途中退学し、下川（大久保）さんが二部に転部して、17名が卒業しました。

元教諭 阿部 和男
(旧姓 荒川 和男)

慕い、何かと卒業後もクラス会などを開いて集まっているようです。私もその席に呼ばれることがあります。苦勞して勉強したことが懐かしく、全日制の生徒とは違った親近感を覚え、教師をやってよかったと思うことが多いのです。また、教師は一人一人の生徒の面倒をよくみました。卒業後も明治学院大学の二部に多く推薦で入学させて感謝されています。また、私の住居の近くには中小企業を営んでいる卒業生が多く、挨拶されて近況を知ることができます。

不況下で大変な時ですが、それぞれ雑草の精神で、着実に乗り越え、一人一人の卒業生が、社会的、国際的にもますます発展していくリーダーとして、活躍されるよう祈念しています。

第19回 有志懇親旅行会



平成13年9月15～16日 群馬県四万温泉「やまぐち館」一泊旅行

訃報

- | | |
|-----------|-----------------|
| 17期 清水 隆一 | 25期 畑中伝次郎 |
| 〃 菅沼喜久蔵 | 41期 田村 道子 (旧湯田) |
| 19期 山川文三 | 〃 大木千恵子 |
| 23期 長島政夫 | 〃 米澤真佐子 (旧細田) |
| 〃 秋松仁司 | 42期 和田英一 |

故・山川文三君を悼む

十九実会 吉浜 照治

酷暑七月、山川文三君の突然の訃報に接し愕然とし、吉原・下條君らと同窓生に連絡し通夜に参列。仲間達と故人を偲ぶ。哀惜極りなし。思えば昭和十四年春、共に東京実業に入学以来六十余年、変わらぬ友情で結ばれた

堅い絆は今日まで続いた。豪放磊落、同窓会の重鎮として纏め役であった。心暖かき友であった。いま山川文三君を失って、改めて友の大切さに心が痛み、衷心より御冥福を祈る。

平成十三年 秋 合掌

故・秋松仁司君を悼む

23期 塩野 理二

平成13年12月に、秋松仁司氏が病気で急逝されましたが、大杉氏と共に、両氏は在学中に野球部に在籍（私も）し、甲子園を目指した日があり、氏を失ったことは、23期として、又野球部OBとして、まことにさみしき限りです。ご冥福をお祈りします。

故・和田英一氏を偲ぶ

組織委員

平成13年6月30日、42期和田英一氏が心筋梗塞で急逝されました。生前和田氏は組織委員会に所属し彼が中心になって三年掛かりで名簿の整理、41期米倉氏と共にパソコンへ入力、会報発送用ラベル作成等陰の力として大活躍をして頂き、同窓会に大きな足跡を残してくれました。

亦、温好人柄は人望も厚く同窓会にとりまして、かけがえのない人を失った事は、大変残念でなりません。心よりご冥福をお祈り致します。（箕輪 記）

会員通信欄

第18期 松本 勇 米田先生、四月から神奈川大学経済学部一年に入学いたしました。75才。

〃 坪井 治 新年会には大雪の為、逗子の山の上で交通不通になり出席できず申し訳ありません。欠席の連絡は19期の下條君を通じてお知らせしました。

第19期 吉原 和富 只今（5/15）川崎市立川崎病院に入院中、胆のう、胆管の摘出手術を受け（4/20）退院予定は5/25日頃になると思います。従って、6/9日まで体力の回復次第で出席出来るかなと思っておりますが？

第38期 飛田 昭 既に予定が入っている為、申し訳けなく思います。総会、懇親会のご盛会を祈念申し上げます。

第41期 真木 豊子 岡野先生が出席されるとのことは是非お逢いしたいです。

事務局だより

学校と卒業生とを結ぶ年一回発行、唯一の機関誌であるこの同窓会報は今回で第13号になります。一人でも多くの卒業生に、見易く、親しまれ、又卒業生相互の輪を広め、母校との絆を末永く保持する様、関係者一同毎号頑張っております。読者の皆さんのアイデアを、お寄せ下さい。益々身近な東実同窓会報にしましょう。

昨年度、同窓会で行った行事は下記の通りです。

記

- 定期総会…平成13年6月9日(土) PM5 「ア・ペア」
- 懇親旅行…9月15日(土)～16日(日) 1泊2日のバス旅行、第19回(19年目) 四万温泉やまぐち館
- 新年会…平成14年1月26日(土) PM5 品川駅前パシフィックホテル 30階

毎年同じ頃に上記行事を行う予定です。どなたでも参加出来ますのでお友達に声を掛けてお気軽にご参加下さい。事務局にお電話等でお尋ね下されば、その時期に案内状を送付致します。意外な人と出逢うかも知れません。皆様方多数のご出席をお待ちしております。

トピックス

今年度から東実がイメージチェンジ!

- ①女子生徒が入り、校内が明るくなった。特に行事の時、顕著に現れる。体育祭の種目、当日のマイク。東実祭のドラヤキの売行き早さ。それは関係ないかな?
- ②週五日制になった。学校に来る日か少なくなった為か平日の一日一日が大切に充実して来たようだ。特に部活、生徒会等。お互いがんばろう。

・・・ご注意を・・・

又出はじめました。卒業生に怪しい情報(電話・郵便)。今年で本校は創立八十周年になりますのでなおさらの事。その対策

- ①家族の者には、自分が対応するから先方の連絡先を聞いておいてもらい、必要以上は応じない。
- ②重複しますが…発信元の確認(住所・電話・担当者名)。金銭にからんだ時は即答せず充分納得してからにする。学校に問合わせるのも可。

お互いに被害者にならぬ様ご注意の程、気をつけて下さい。

＝平成14年度 定期総会のお知らせ＝

日時 平成14年6月8日(土) PM5時～
 場所 蒲田南口「プラザ・アペア」
 会費 3,000円 平成卒業生は無料です。
 是非ご出席下さい。

常任幹事を募集しています

皆さんの中で、何か同窓会にお手伝いしたい方が居ましたら、是非、ご協力ください。

常任幹事のお仕事は、2ヶ月に1回位平日の夜、集まり、同窓会行事等の打合せを行ったり、又諸行事への積極的に参加する事等です。

同窓会の輪を広げる為にも貴殿の力を、お貸しください。連絡先は、同窓会事務局へ、電話、ファックス、ハガキ等でご一報ください。よろしく。

Tel 03-3732-4481 Fax 03-3732-4456

編集後記

会報は紙面構成のパターンが決まっっていて面白味に欠けるとの批判がある。確かに記事をお書き願う方々の順はほぼ一緒である。然し記事内容はと言うと、教育の問題点が浮き彫りになるデータが嵌め込まれていたりもするのだが……。また会員からの原稿集まりが悪いことも相まって、次号からの会報はフリートーク用紙面として解放します。そのうえ原稿料を……とも考えています。貴方のホームページを立ち上げるように、プライベートの問題から政治への意見。最新作の俳句や短歌。沢山の投稿を期待しております。(蜻蛉玉)

発行総務委員・運営委員(会報担当)

委員長	滝口 房枝	委員	遠藤 孝一
委員	天野 昇	委員	渡辺 正信
	加藤 憲治	委員	臼田 佳彦
	塩野 理二	協力者	志賀 由直
	関根 秀夫	委員	青木 茂夫
	坪井 治	委員	本田位公子
	戸田 三光	事務局	米田 仁昌
	中山 廣一		